



ほんなこてゆたたり

文責 校長 平井 敏博

【令和6年度学校教育目標】
大人も子どもも、目指すは“とことん学び続け、とことん学び合う人”
～生涯学びの基礎づくり～

1年生を迎える会・春遠足にて ～頼れる存在になる高学年～

春遠足を引率しながら、頼れる存在になっている高学年を見て、成長を実感しました。加えて、任せてみることの大事さも、あらためて考えたところです。もちろん、縁の下で、大人の（職員の）“お膳立て”があつてこそなのですが、“手柄（てがら）”は、しっかりと子ども達に味わってほしいと思います。そのうち、大人の手から離れていくわけです。



1年生のお世話、会の進行等を高学年がしっかり受け持ちます。



休憩、給水も高学年が、細やかに心がけてやってくれました。みかんの花香り、有明海を一望できるコースも、五感を刺激する学びにつながりました。

“今やっていること”の価値を再確認 ～“集団登校”で考えること～



上の写真は、朝の登校の様子です。新年度になって、登校班のメンバーも代わって、1年生の新メンバーも加わりました。

多良小学校では“集団登校”も、貴重な学びの機会であり、大事な教育活動の機会になっています。

まず、毎日、歩いて登校することが、間違いなく“健康・体づくり”になっています。

貴重な異学年との交流機会でもあります。お世話される人からお世話する人に、“成長”していきます。新年度になって、俄然、高学年の意識が高まった人が何人もいます。

欠席する日や事情で遅れる時に、メンバーに連絡するのも貴重な学びの機会です。社会人になり、仕事を始めて、欠席や遅刻等、職場に連絡する時も同様なことが起こります。相手意識や社会性を育てることだとも考えられます。

集団登校で起こるトラブルも、もちろんあります。安全第一は当然ですが、メンバー間のトラブル等は、しっかりと学びにつなげ、個々の“成長”“伸び”“変容”に、つなげていきたいところです。保護者の皆さんの見守り、協力、なにとぞ、よろしく願いいたします。

～掃除時間の様子から～



1年生の掃除も始まりました。雑巾を使ったワイパー拭きやほうきの使い方、机の運び方等、身に付けることはたくさんあります。“面倒くさい”や“きつい”“したくない”という気持ちに打ち勝つことも必要です。縦割り班による掃除もありますので、先輩に教えてもらう時間となります。いずれ、“教える人”にもなるわけです。

目指すは、子ども達の“豊かな生活・豊かな人生” ～信頼関係の構築は、そう簡単にはいきません～

大事な、大事なお子様を預かっていること、自覚しております。学校も、家庭も、目指すところは、子ども達の“豊かな生活・豊かな人生”です。ピッタリ一致しています。

一方、学校生活は、山あり谷あり、喜怒哀楽、試行錯誤三昧です。できないこと、わからないこと、思い通りにいかないこと、対人関係のトラブル等、どうしても避けられません。むしろ、そのような場面で、どのように自分のセルフコントロールをしたり、挑戦して打開したり、対話を通してお互いを理解し合ったりするかを学ぶことこそ、重要な学校の存在理由でもあります。

子ども達が、できないこと、わからないこと、思い通りにいかないこと、対人関係のトラブル等に出くわすと、当然、テンションが下がります。そこを、まわりの大人がしっかりサポートして、前向きな気持ちを引き出し、乗り越える考え方や技術（スキル）を身に付けさせていくわけです。

ここで、まわりの大人の信頼関係が、直接影響します。学校と家庭の連携がかみ合っていないと、子ども達を迷わすこととなります。

“ひっきゃで子育て”の肝がここにあると思います。信頼関係は、そう簡単にはできません。率直な感想交流や意見交換が必要です。つまり、対話が必要です。時間がある時に、ぱっと対話ができる関係を、まず、築きたいです。